

ライブラリー通信

2月号

No.46

発行 2011年

2月1日

那珂市立図書館

那珂市菅谷2995-1

TEL:029-352-1177 FAX:029-352-1178

ホームページ: <http://www.lib.city.naka.ibaraki.jp>



桃栗三年、柿八年、柚の大馬鹿十八年、
梅はすいすい十三年 ※



寒い日が続いております。外に出るのが億劫になる毎日ですが、季節は早春。梅の季節。梅まつりの季節がやってまいりました！茨城県でも借楽園の梅まつりが有名ですね。

※芽が出てから実がなるまでの期間のこと。本来は「桃栗三年柿八年」で一つの諺(ことわざ)。「何事も成果をあげるには年月が必要だ」というたとえとして用いる。柚、梅、枇杷(びわ)など続けることもある。
※『故事ことわざの辞典』より抜粋

各地で古くから伝わる諺なので、「柚は九年」「梅はすいすい十八年」ともいわれています。伝わるうちに変化したり、韻を踏んだものも登場します。

(例) ●「桃栗三年、後家一年」

●「桃栗三年、柿八年、梅はすいすい十三年、柚は大馬鹿十八年、りんごにこにこ二十五年、女房の不作は六十年、亭主の不作はこれまた一生」



梅は観賞用、食用など、諺に使われるほど日本人の身近な植物だったのですね。梅まつりを機会に図書館の資料を使って「梅」について調べてみてはいかがでしょうか？

＜梅の木や花について＞

- 『水戸の梅と弘道館』
分類(1625マ) 棚番号46郷土資料
- 『四季 花の事典』
分類(477シ) 棚番号18通路側
- 『知られざる花名所』
分類(291オ) 棚番号13CD側
- 『誕生日の花 冬編』
分類(627タ) 棚番号22CD側

＜梅についての芸術作品＞

- 『花撮影の上達 カメラ・セレクション』
分類(743.6I) 棚番号42カメラ
- 『梅くらべ 各地の梅』
分類(748ニ) 棚番号42写真集
- 『もっと知りたい 尾形光琳』
分類(721.5ナ) 棚番号42郷土側
- 『日本故事物語 下』
分類(388.8I) 棚番号17CD側

《お知らせ》 ヤングアダルトコーナーの棚の配置を変更しました。



【 休館日カレンダー 】



2月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開館時間 平日 9:30~19:00 休館日
 土・日・祝日 9:30~17:00

* 毎月**最終木曜日**は図書整理のため休館日となっております。

2月・3月のおはなし会

● 2月 6日(日) ⇒ 14:00~ 3月 6日(日) ⇒ 14:00~
 2月 17日(木) ⇒ 10:30~ 3月 17日(木) ⇒ 10:30~
 2月 20日(日) ⇒ 14:00~ 3月 20日(日) ⇒ 14:00~
 2月 23日(水) ⇒ 16:00~ 3月 23日(水) ⇒ 16:00~

● 毎月、第1・第3日曜日・第3木曜日・第4水曜日に幼児・児童向けのおはなし会を開催しています。場所は、1階おはなしコーナーです。
 (毎回30分程度を予定しています)

新着図書

一般書

- ◇ 『ピースメーカー』 小路幸也 ポプラ社
- ◇ 『吉原十二月』 松井今朝子 幻冬舎
- ◇ 『メロディ・フェア』 宮下奈都 ポプラ社
- ◇ 『純平、考え直せ』 奥田英朗 光文社
- ◇ 『噛む犬』 香納諒一 徳間書店
- ◇ 『女子芸人』 神田茜 新潮社
- ◇ 『東京影童心』 杉本章子 講談社
- ◇ 『ワタクシハ』 羽田圭介 講談社
- ◇ 『川あかり』 葉室麟 双葉社
- ◇ 『TYO ゴシック』 古川日出男
ヴィレッジブックス

児童書

- ◇ 『旅するウサギ』 竹下文子 小峰書店
- ◇ 『深く、暗く、冷たい場所』
メアリー・D・ハーン 評論社
- ◇ 『もりのねこ』
あべ弘士 絵、工藤有為子 文 小峰書店
- ◇ 『ほんをよめばなんでもできる』
ジュディ・シエラ 作、マーク・ブラウン 絵
セーラー出版
- ◇ 『どうぶつどうしてどんどんどん』
マイケル・フォアマン 作 岩崎書店